

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

学習発表会で銀山学習の成果を披露～高山小学校

11月17日(土)、高山小学校で収穫祭と合わせ学習発表会が行われました。現地学習を行った5,6年生17名が班ごとにその成果を発表。たくさんの保護者や地域の方々が見守りました。

発表は、寸劇形式や模造紙により行われました。寸劇は、現在のテレビ局が掘り子や大久保石見守をインタビューするというユニークな設定。取り上げた内容は、銀山争奪の歴史、大久保石見守の銀山支配、掘り子による鉱石採掘、明治以降の藤田組による鉱山経営など。

子どもたちの説明にうなずいて聞いている保護者もたくさんおられました。発表に至るまでは、劇の練習や小道具の準備でたいへんだったようです。

同じ日には五十猛小学校でも発表が行われました。各学校とも新聞づくり、ポスターセッションなど様々な方法でまとめをしています。



銀山争奪の歴史を発表する

三中生、地域で神社の保全を訴える

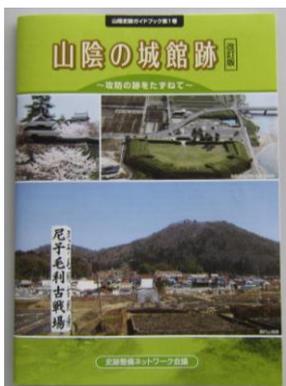
11月20日、高山まちづくりセンターで地域講座(大田市教育委員会主催)が開かれ、住民のみなさんに、世界遺産登録地域内にある豊栄神社、佐毘売山神社、井戸神社の保全と活性化を訴えました。参加者からは、「現実を知ることが大切。子どもに教えられた。」など、高い評価を受けました。

住民に訴える三中生



山陰の城館跡(攻防の跡をたずねて)改定版～石見銀山に関する図書紹介⑧

〈史跡整備ネットワーク会議編 平成23(2011)年発行〉



戦国時代、銀は武器や兵糧を調達するための貨幣として必要不可欠だった。石見銀山周辺の戦国大名は銀山の支配権をめぐる激しく争い、軍事上の要衝に多数の山城を築造した。

この冊子には、「石見銀山の攻防の城館群」として13の山城跡が載せられている。世界遺産の構成資産となっている山吹城、石見城、矢滝城、矢筈城をはじめ温泉津の鶴丸城、櫛山城が紹介されている。このほか邑智郡の山城にも触れている。

フルカラーで写真や図が多用され、説明も平易で読みやすい。巻末には、城館用語の解説もある。

ガイドから見た小中学校の石見銀山学習

石見銀山ガイドの会会長 安立 聖

石見銀山基金事業の認定を受けられるようになって、石見銀山学習への取り組みが強まったことは嬉しいことです。何かと忙しく、様々な課題がある中で、精力的に取り組まれている教職員みなさんに敬意を表します。

この取り組みを進めて行く上で、私が必要ではないかと感じていることを3つに絞って記してみます。

①小学生のみなさんをご案内してまず思うことは、石見銀山に来るのは初めてという人が結構たくさんいるということです。中学生のみなさんをご案内して感じることは、小学生の時に学校の学習で来た以外は、石見銀山に来ていないということです。

これは、大人の側の問題であるわけですが、子どもたちと石見銀山の距離感を近いものにすることがまず必要ではないでしょうか。

②石見銀山学習は、郷土学習と世界遺産学習という二つの側面を持っていると思います。

この二つを、小中学校を通して、いつ、どのような形で、どんな内容で行うかというカリキュラムを少なくと

も学校で、できれば中学校区単位で検討する必要があるのではないのでしょうか。

③石見銀山の学習の根底に、ユネスコ憲章前文の考えを置くということが必要だと感じています。

「人の心の中に平和の砦を築く」ということをめざして、人類の相互理解の必要性を訴えています。

世界遺産登録の究極の目的はそこにあると、私は思っています。

私たちも、できる限りの協力をさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



五十猛小の児童に説明する安立会長（本谷で）

石見銀山課からお知らせとお願い

■「第3回世界遺産学習全国サミット in なら」のご案内

日本各地で世界遺産学習に携わっている教師、研究者、ボランティアガイドなどが参加します。世界遺産や文化財の修復手がけている方のリレートーク、教職員による実践発表、子どもによる世界遺産学習発表会が行われます。

大森小学校の丸亀貴彦先生も第5分科会で発表されます。是非ご参加下さい。

○日時：平成25年1月27日（日） 9：20～16：00

○場所：奈良市教育センター・なら100年会館

○主催：文部科学省・奈良市教育委員会・奈良教育大学・奈良国立博物館・世界遺産学習連絡協議会

（詳しくは、「第3回世界遺産学習全国サミット」でネット検索下さい。申し込み方法などがわかります。）

□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

12/05 島根中央高校 銀山街道温泉津・沖泊道の一部を歩く。西田を出発し、清水、松山道標を経て沖泊港まで。地域創造コースと現代ビジネスコースの生徒36名が参加。

12/11 島根中央高校 仙ノ山の本谷地区で遺跡の保全活動。竹の伐採など。春に続いて2回目。

12/12 久手小学校 世界遺産センター見学後、鉾山地区の龍源寺間歩まで往復。6年生30名が参加。

